

第6次社会資本整備重点計画の実効性を確保するため、各地方の特性、将来像や整備水準に応じて重点的、効率的、効果的に整備するための計画として、地方ブロックごとに策定。

新たな地方ブロックにおける社会資本整備重点計画は、広域地方計画等で示される長期ビジョンの実現に向けて、令和12年度までに実施される各地方ブロックにおける社会資本整備の具体的な計画を示す。

地方ブロックにおける社会資本整備重点計画のポイント

■各圏域の広域地方計画との調和

- ▶ 新たな広域地方計画の目指すべき将来像等と整合を図り、広域プロジェクトを社会資本整備の観点から支えていく計画とする

■第1次国土強靱化実施中期計画の反映

- ▶ 第1次国土強靱化実施中期計画の内容*が含まれる事業を明示
※初年度分である令和7年度補正予算に計上されたものに限る

■主要取組の事業の見通し、ストック効果の明確化

○主要取組の事業の見通しを明示

- ▶ 着実な事業の実施や担い手の育成・確保の推進のため、完成時期や残事業費等を記載。

○将来期待されるストック効果を明示

- ▶ インフラ整備のスケジュールと関連する民間投資の動きや事業ごとに将来期待されるストック効果を記載。

■インフラマネジメントの方針に沿った取組の明確化

- ▶ 全国計画で示されたインフラマネジメントの5つの方針に沿った地方ブロック毎の取組を記載。

ハード・ソフトの活用

他分野連携

官民連携

地域住民の参画

イノベーションを創出

【参考】主な記載例

<主要取組>

●●自動車道 一般国道●号●●道路

→ [残事業費●●億円 (R○年度評価時点)]
(●●IC~●●IC) (●●県●●市) ★
(R8年度工事中) [R12年度完成]

中長期の予算
見通しの提示

完成時期を
明確化

国土強靱化実施中期計画
の取組の明示

<将来期待されるストック効果>

●●自動車道の整備を見据えて企業の設備投資が進められる等、産業界からの期待も大きく、地域の活性化が期待される。

<インフラマネジメントの方針を踏まえた取組>

まちづくり部局等の施策と連携し、水災害対策と「コンパクト・プラス・ネットワーク」とを連動させ、水災害リスクがより低い区域への誘導・住まい方の工夫や水災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。

他分野連携